

大阪市会定例会会議での万博・IR カジノ質疑

昨日 29 日、大阪市会定例会会議を傍聴した。万博や IR カジノについて、どのような質問と市長答弁が聴けるかと。

自民の森山よしひさ議員の一般質問を紹介する。質問項目は次の 11 点。1 御堂筋の道路空間再編、2 学校選択制、3 学力向上、4 民間活用のあり方、5 組織の魅力向上、6 地域活動協議会の補助金、7 ふるさと納税、8 デジタル技術を活用した地域経済の活性化、9 大阪・関西万博、10 大阪市全域の路上喫煙対策、11 IR の土地課題対策費等の本市負担リスク。

昨日は維新と公明が一般質問したと思うが、今日は自民だけ。残念ながら少数会派は質問の機会が与えられていない。これも酷い話だ。森山質問と横山市長の答弁を聴いて参考になることも多かった。

まずは 9 の万博から。万博終了後の大屋根（リング）の活用について、万博協会副会長でもある市長の所見を問う。リユースが協会の方針と思うが、閉幕後に現地で保存することなどを耳にするが、仮設建築物の保存は可能なのか。市長は法への適合性に照らして慎重に考えると。シニア層の入場料負担軽減を求めたが、市長は多様なチケットがあるので、考えていないと答弁。

11 の IR カジノについて、森山委員は「IR 誘致について 9 月に事業者と実施協定等を締結したが、どのような契約となっているのか。また、液状化や土壤汚染だけでなく、地盤沈下対策などについて、今後、費用負担が生じることはないのか、市長の所見は」と質問。市長はこれまでと同じく、地盤沈下対策などに市の負担はないと。森山議員は「解除権」と関わらせて再質問したが、市長答弁には不確かな点もあり、実施協定の「解除権」と大阪市の財政負担について、委員会審議などを注目していきたい。

万博と IR カジノのほかにも、現在の大阪市政、「維新政治」を考えるうえで参考になる質問と答弁もいくつかあった。

1 の御堂筋の道路空間整備では、この間の道路整備によって車の渋滞が発生していること、御堂筋に放置自転車が aumentando していること。

4 の民間活用のあり方について。「業務の民間委託は事業の安定性や継続性という、公共の担うべき役割の脆弱化につながるのではないか。公共の役割について改めて検討し、住民にとって何が最も重要であるかを念頭に民間活用における課題等を分析、検証する必要があると考えるが」に対して、市長は通り一編の答弁をしたが、区役所の窓口サービスや公共の役割など重要な問題を提起した質問であった。

5 と 6 は「維新政治」とも直接関わるもので注目した。このたび人事評価制度を改正するというが、大阪市役所の魅力向上は待ったなしの課題だ。地域活動協議会の補助金改正も、下からのまちづくり、住民自治を維持していくためには欠かせないものだ。

(2023 年 11 月 30 日)